

活動の輪は770名突破 プレゼントキャンペーンも実施！ 広島の中山間地域の魅力が集結！「さとやまマルシェ」を開催

日時：2/18（火）～ 場所：そごう広島店5階（広島市中区）

本県の中山間地域に関わりを持ちながら、伝統を生かしつつも、新しいものを生み出すなど様々な活動を実践している人たちがつながり、地域づくり活動の輪を広げていく人材プラットフォーム「ひろしま里山・チーム500」。

この冬、チームの登録者は遂に770名に達し、地域住民の皆様も巻き込んだ活動により中山間地域に活気が生まれつつあります。

こうした中、チーム500の登録者が中山間地域にあるものを生かして開発した想いのこもった“こだわりの商品”を届ける「さとやまマルシェ」を、そごう広島店で開催します。約40団体が手がけるこだわりの商品が250点並びます。

また今回は、出店者の方の商品を届けるキャンペーンを実施いたします。「さとやまマルシェ総選挙」を実施し、来場いただいた方に魅力に感じた出店者を投票していただき、投票者の中から抽選で10名様に、出店者の商品をプレゼントします。

里山ならではの特色ある商品を通じて、その魅力を感じていただけるだけでなく、買い物を通じて地域を応援できる貴重な機会です。是非ご来場の上、ご取材いただきますようお願いいたします。

1 概要

期間	令和7年2月18日（火）～3月9日（日） 10：00～19：30 （※ 最終日は、17時閉場）
場所	そごう広島店5階 ヒロシマルシェエット（広島市中区基町6-27）

2 主な出品商品（一部）

■ Teto teto 延原 真由子さん（三次市）



栽培期間中農薬不使用で、化学肥料も最小限に抑えた栽培方法で作られたお茶から誕生した、「ほうじ茶シロップ」や新商品として2025年1月から生口島産のレモンと掛け合わせた「ほうじ茶レモンシロップ」、「はぶ草茶ティーバッグ」等。



三次市の南に位置する上田町で地域の風土や文化を次世代に繋ぐため、2021年から『Teto teto』として活動を開始。

70年以上の歴史を持つ貞野製茶工場でお茶の栽培と加工を学びながらお茶商品の開発・販売を一貫して行っています。

■ 松島や 北尾 悦子さん（呉市）



広島県呉市近海の安芸灘で採れたものを100%使用した、希少な天然ひじき。

天然物、天日干ヒジキの取扱いを始めて15年目になります。自然環境が大きく変化していく中で、日本に出回っているヒジキの9割は中国産、韓国産と言われ日本の天然物ヒジキは1割を切っています。そんな中、この寒い冬が旬のヒジキは島の漁師さん達が冷たい海に入り採取し、すべて手作業で作りにあげた逸品です。

日本の食文化を継承することで日本人の健康増進につながるよう、まごころ込めてお届けしています。また、ひじきを生産している漁師さん達と天然ひじきの愛好家とをつないで、イベントも行っています。



■ Sunny-side UP 合同会社 佐々木 正旭さん（呉市豊町）

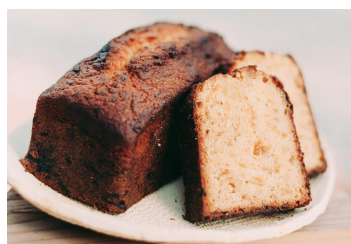


地元の柑橘をふんだんに使ったパウンドケーキ、柑橘のチョコレート、焼き菓子等。

広島県呉市大崎下島でお菓子を製造、販売をしています。

表皮に傷があったり、サイズの問題で出荷されない地元の柑橘を積極的に買い取り、その柑橘をふんだんに使った本格的なスイーツに加工しています。

お菓子作りを通して「すべての人・モノには意味や価値があり、それが輝ける世界」を目指しています。



※詳細はこちらをご覧ください。【https://team500.hiroshima.jp/article_category/detail/178】

3 現地取材について

取材希望日の前日15時までに「広島県中山間地域振興課」までご連絡をお願いします
(電話：082-513-2632 メール：chichusankan@pref.hiroshima.lg.jp)

【ひろしま里山・チーム500】

広島県中山間地域振興計画の柱である「人づくり」の着実な推進に向けて、地域と関わりを持ちながら様々な活動に取り組む実践者がつながり、活動の輪を更に広げていくための登録型人材プラットフォーム。

平成28年12月20日に設立。令和7年1月末で776名が登録。



ウェブサイト
QRコード